

♪ オススメ音楽・映像作品



第二回『ホームアローン1・2』

映画紹介、第二回は『ホームアローン1・2』をご紹介します。この映画は、よくクリスマスシーズンにテレビで放送されていたので、見たことがあるという方も多いかと思いますが。一言で説明すると「8才の少年が様々なトラップで二人組の泥棒を撃退するコメディ映画」です。

・『ホームアローン1』

主人公ケビンは大家族の一員。今年のクリスマスは皆でパリに行くことに。当日、一行は寝過ごしてしまい慌ただしく出発、パリ行きの飛行機にはなんとか間に合い一安心。と思っていたらある忘れ物に気づく。「ケビン!」

一人取り残されたケビンは、うるさい両親や兄弟がいない家で自由を満喫していた。ところが、そこに泥棒二人組がやってくる。ケビンは泥棒撃退作戦を計画、アイロンや扇風機、おもちゃを使ったトラップで迎え撃つ。

・『ホームアローン2』

今度は家族そろってクリスマスにマイアミ旅行。当日、大家族はまたしても寝過ごしてしまい慌ただしく出発、今回はケビンもいるので一安心。マイアミに到着し、一行は順番に荷物を受け取る。が、ケビンの姿が見当たらない。「ケビン!」ケビンは乗る飛行機を間違え、一人ニューヨークに着いてしまう。しかも、偶然あの泥棒二人組に出くわしてしまったものだから、さあ大変。ニューヨークの街を舞台に、ふたたびケビンの泥棒撃退作戦が始まる。



この映画の見どころは、泥棒二人組がケビンのトラップに引っかけたりボロボロになっていく様子です。大人になって見直してみると、「これは過剰防衛でしょ」というトラップが多々あることに気づき、コメディ映画としてだけでなく、スプラッター映画としても楽しめる作品になっていきます。昔見てそれっきりという方はぜひ見直してみてください。

(本多)



本多

コラム

皆さんは、公共図書館で自習を禁止しているところが多いことをご存じですか？別府市にある別府市立図書館では「学習室など特別に設けている部屋はごさいません。閲覧室の席を、マナーを守ってご利用ください。」(注1)と書いてあります。確かに公共図書館は、田舎の方だと狭く限られたスペースの中で学習室を設けることは難しいことだと思います。また、公益社団法人・日本図書館協会が1989年にまとめた指針には「席借りのみの自習は図書館の本質的機能ではない。自習席の設置は、むしろ図書館サービスの遂行を妨げることになる。」(注2)と書いており、自習を認めていない公共図書館が多いことにも頷けます。しかし、時代とともに図書館の役割は変化していき自習を認める公共図書館が増えました。もし、公共図書館に行ったらとき自習を認めているところを見かけたら公共図書館で自習を禁止しているところが多いことを思い出してみてくださいね。今までは違った気持ちで利用できるかもしれません。

(宮本)

【参考資料】

- 注1) 別府市立図書館 よくある質問 (最終閲覧2018/06/01)
<https://www.city.bepu.oita.jp/toshu/adult/faq.html>
- 注2) 日本図書館協会 公立図書館の任務と目標 (最終閲覧 2018/06/01)
<http://www.jla.or.jp/library/guideline/tabid/236/Default.aspx>



宮本

終わりに

今回このコーナーを担当することになった一年の小石です。新しくFOBLEの一員となり、活動に励んでいます。大学の図書館には関連書籍だけで棚が一つ埋まるほどの蔵書があり、中には大きすぎて棚に入らないような大版な本までありました。まだまだ活動には不慣れで、配架の忙しさで身体の節々が痛くなっていますがこれからも元気に活動を続けたい。

(小石)

記事：本多政道、宮本佳林、
内尾友香、小石健、樋口明里咲
編集：樋口明里咲

ふおくぶるの開架書架

6・7 月号

発行者…
FOBUL
(別府大学図書館友の会)

第四回 読書会のお知らせ

昨年開催した読書会のお知らせです。今回の課題本は笹井宏之著『てんとろり』。読書会初の短歌の本になっています。お菓子を持ち寄って楽しく課題本について話しましょう。ぜひ、お越しください！

日時…7月7日(土) 13時～ (1時間半程度)
場所…18号館4階 ラーニングコモンズ
課題本…『てんとろり』 笹井宏之 (書肆侃侃房)

教えて！
面白い本

今回のおすすめ

・『精霊の守り人』

上橋菜穂子著 (偕成社)

・『容疑者Xの献身』

東野圭吾著 (文春文庫)

今回私が紹介致しますのは、上橋菜穂子さんの『精霊の守り人』と、東野圭吾さんの『容疑者Xの献身』です。

『精霊の守り人』は守り人シリーズの一番最初の作品です。新ヨゴ皇国の皇子であるチャグムが、〈精霊の守り人〉に選ばれたことで数奇な運命を辿ることになる物語です。この物語の主人公であるバルサと言う女用心棒が、川に落ちたチャグムを救うことから物語が始まります。

私は守り人シリーズの中でも、この『精霊の守り人』が一番好きです。一番最初に私がこの守り人シリーズに出会ったのは、小学校の頃に見たアニメでした。そこから中学校に入り、図書室で守り人シリーズを見て、はじめて原作を知りました。その中学校の図書室では守り人シリーズが全巻揃っておらず、結局私が守り人シリーズを全て読破したのは高校に入ってからです。そして全ての守り人シリーズを読んだ中で、やはりこの『精霊の守り人』が一番私に馴染みました。トロガイ師のチャグムに言った「おまえ、もう、そこらのおとなよりずっとおとなだね。」と言うセリフや、チャグムとバルサの別れのシーンは、アニメよりも感動し



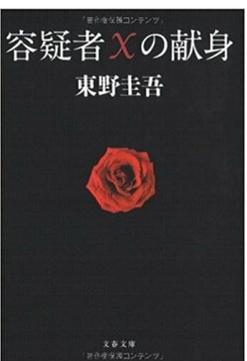
ました。けれど、私的に感じているのは、チャグムがたった8ヶ月程で人として大きく成長していく様子です。皆さんに是非読んで欲しいです。

『容疑者Xの献身』は、内容はミステリーものなので、ネタバレ禁止、という事で。ただ、この本はガリレオシリーズの第三弾なので、このシリーズの最初から読むことをお勧めします。

何故シリーズの中でこの本を紹介するのかと言うと、東野圭吾さんの作品の中で最初に読んだのはこの本だったからです。図書室で偶々手に取ったこの本を読んだことで、私は東野圭吾さんを知りました。最初の方で、「あ、これ多分シリーズ物だ。内容分かるかな？」とは思ったのですが、取り敢えず読んでみようと思進め、結果とても面白かったので印象に残りました。なので、前作を読むのが面倒だと思う方は、前言と矛盾しますがこの本だけでも十分楽しめますので、是非読んで貰いたいです。

他にも、精霊の守り人シリーズを面白いと感じて下さったなら、守り人シリーズの短編小説である『流れ行く者』も是非是非読んでください。バルサの過去を知ることが出来ます。ガリレオシリーズも、全作頑張って読める人は読んで貰いたいです！

(内尾)



ベッキーの図書館豆知識

やあ、みんなお久しぶり！ベッキーだよ☆

みんなは図書館を利用して、自分が読みたい本が所蔵されてなくて困ったことはないかな？

そんな時は思い切って、図書館にリクエストしてみよう！

別府大学付属図書館では、入口を右側に「図書リクエスト申込用紙」があるよ。その用紙に書名、巻号、著者名…等々全部記入してボックスに入れてね。明確に記入しないと特定できないから気をつけよう！

リクエストは大学図書館に限らず、公共図書館でも行っているから活用してみるといいかもね！

